



劇団文化座公演

原作.. 金義卿 翻訳.. 李惠貞
脚色.. 金守珍 / 佐々木愛 演出.. 金守珍

旅立つ家族

韓国の国民的画家、李仲燮（イ・ジュンソプ）
その鮮烈な生、時代と国境を超えた愛と、家族の物語

【出演】

佐々木愛

有賀ひろみ

米山実

高橋美沙

藤原章寛

他



文化座 × 金守珍 初コラボレーション!

新宿梁山泊を主宰する金守珍氏を初めて文化座に迎え、韓国演劇界の第一人者・金義卿氏の代表作に挑んだ衝撃の話題作。芸術への熱い思いを抱きながら、不遇のうちに39歳の若さで没した李仲燮(イ・ジュンソプ)[1916~1956]の半生。彼は死後、1970年代から評価が高まっていき、韓国では今や国民的画家として愛されています。日本占領下の朝鮮半島に生まれ、第二次大戦、朝鮮戦争、南北分断という激動の時代を生きた李仲燮は、日本で絵画を学び、日本女性と結ばれました。その激烈な生と芸術、生涯夢に描き続けた家族への愛をエネルギーギッシュに描いています。

STORY

日本による韓国併合の時代に朝鮮北部に生まれた李仲燮(イ・ジュンソプ)は、朝鮮の大地を愛し幼い頃より絵に描いていた。1935年、支配国である日本に渡り、東京帝国美術学校、文化学院美術科で絵を学ぶ。在学中に山本方子と出会い魅かれ合うが、戦局も逼迫して一人、実家のある元山(ウォンサン)へと戻った。思いを断ち切れない方子は終戦間近の1945年、危険な玄界灘を一人渡り仲燮と再会する。二人は結婚、山本方子は李南徳(イ・ナムドク)として生まれ変わり二人の子どもを授かる。やがて第二次大戦は終結するも朝鮮半島は混乱が続き、朝鮮戦争が勃発。身の危険を感じた仲燮は、芸術と家族を守るため、一人残るといふ母に絵を託して元山から脱出する。一家は釜山から済州島にたどり着くが、南徳と子供たちは健康状態が悪化、仲燮を残して日本に帰ることとなった……。



九演連の皆様へ

昨年の『三婆』に続いて、今年は『旅立つ家族』を例会にお招きいただきまして、本当にありがとうございます。

この作品は、私の演ずる山本方子の回想から始まりますが、現在では韓国の国民的画家と呼ばれ、教科書にまで載るようになった彼女の夫、画家・李仲燮(イ・ジュンソプ)と、その家族の物語です。

東京の片隅で、今もご健在の方子さんと李仲燮の愛の軌道を考える時、つくづく、国境や戦争という、個人の力ではどうしようもない、大きな大きな障害に翻弄される人間の姿と、愛の力を感じます。

『三婆』とはがらりと変わって、歌あり、ダンスありの文化座若手俳優陣たちの活躍を、皆様どうぞご期待下さいませ。

文化座 佐々木 愛

大分市民劇場 第203回例会

7月31日(水) PM 6:30 ・ところ J:COM ホルトホール大分・大ホール

お問い
合せは

大分市民劇場
☎532-0365

大分市大手町2-2-11
那賀ビル203

会費・入会金
大人 4,900円 (入会金2,500円+会費2,400円)
中高生 2,700円 (入会金1,500円+会費1,200円)

*市民劇場は会員制による演劇鑑賞団体です。前売券、当日券はありません。事前に入会下さい。

劇団文化座公演 旅立つ家族

原作..金義卿
脚色..金守珍/佐々木愛
翻訳..李惠貞
演出..金守珍